

今週のお祈り 降臨節第4 主日特禱

全能の神よ、み子の訪れによってわたしたちを清め、心の闇を照らしてください。主が来られるとき、主にふさわしい住まいを、常にわたしたちのうちに備えることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう

〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1

でんわ：03-3710-6031

号外 281

発行日
2025年
12月21日

降臨節(アドベント)の4本目のろうそくが灯りました。今日の礼拝では日曜学校による聖劇もおさげします。多くの皆さまと一緒に主イエスさまのご降誕を祝うことができますように！教会でお会いしましょう



今週の聖書 マタイによる福音書 1:18-25

18 イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが分かった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表沙汰にするのを望まず、ひそかに離縁しようと決心した。20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れずマリアを妻に迎えないさい。マリアに宿った子は聖霊の働きによるのである。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであった。23 「見よ、おとめが身ごもって男

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

神さまは、いつも 私たちといっしょにいたいと願っていた。でも、見えな
い神さまのことは、なかなか分からない。そこで、神さまは、私たちと同じ
人の姿になって、この世界に来てくれた。それがイエスさまだ。イエスさま
が生まれる、ずっとずっと前、なんと七百年も前に、神さまはすでにその約束
をしていた。だから、イエスさまの誕生は、ただのお話や作り話ではない。
神さまが長い時間をかけて、大切に守り続けてきた、本当の約束だった。

そして今、イエスさまが天に昇ったあとも、神さまは 私たちといっしょに
いることに、変わりがない。それは、神さまである聖霊さまが、私たち一人
ひとりの心の中にいてくれるからだ。だから、これからも、そしていつまで
も、神さまは、私たちといっしょにいるのだ。

の子を産む。／その名はインマヌエルと呼ばれる。」これは、
「神は私たちと共におられる」という意味である。24 ヨセフ
は目覚めて起きると、主の天使が命じたとおり、マリアを妻に
迎えた。25 しかし、男の子が生まれるまで彼女を知ることが
なかった。そして、その子をイエスと名付けた。